

陶磁器に出会うⅣ

中国の小さなやきもの — 美は掌中に在り — しょうちゅう

平成22年6月5日(土)~7月25日(日)細見美術館



中国では、世界で最も進んだ技術と優れた造形性によって、多くの美しい陶磁器が生み出されました。その製品には、秦・始皇帝の兵馬俑のように2メートル近い大形品(=マクロ)がある一方で、数センチほどの小作品(=ミクロ)も少なくありません。中には、指の先ほどの超小形品まで見られます。

このようにマクロとミクロが共存する中国陶磁器の中から、本展ではミクロの部分に注目し、「小形の製品=手のひらにのるような小さなやきもの」を紹介していきます。また、様々な目的で作られた作品を通して、紀元前4000年頃の新石器時代から100年程前の清時代末期までの約6000年間にわたる中国陶磁の歴史を概観する内容にもなっています。

小さなやきものを通じて、中国陶磁の悠久の歴史に触れるとともに、そのマニアックな美の世界をお楽しみください。



白地鉄絵唐草文壺
高:3cm 胴径:3.1cm



白釉緑彩杯
高:2.5cm 口径:6.4cm



黒釉童子と犬
高:3.2cm 長さ:4.4cm 幅:2cm

主催:細見美術館 毎日新聞社

会期:平成22年6月5日(土)~7月25日(日)

休館日:毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜)

開館時間:午前10時~午後6時(入館は5時30分まで)

入館料:一般1000円(800円) 学生800円(600円)

※()内は20名以上の団体料金

会場:細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3

Tel / 075-752-5555

お問合せ先:広報担当 三宅 由紀

Tel / 075-752-5555 Fax / 075-752-5955

E-mail / kouhou@emuseum.or.jp

http://www.emuseum.or.jp